

民間レベルで 日台交流討論

松 本

民間レベルで日本と台湾の交流などを話し合う第十二次「アジア・オープン・フォーラム」が三十日、松本市のホテルを会場に始まった。日台の文化人や学者、経済人らが参加し、初日は開会式の後、「新世紀への知的戦略」をテーマに、グローバル化や経済戦略、情報環境などについて討論した。

フォーラムは一九八九年に発足し、日本と台湾で会議を開いてきた。会議方式は今回で最後という。

開会式では日本代表団の亀井正夫・住友電気工業相談役が「日台の各界を代表する方々が一堂に会して得られる提言は、アジア太平洋地域の永続的な発展に貢献すると期待する」とあいさつした。台湾の李登輝前総統はビデオを通じて、「二十世紀の二度の世界大戦を繰り返さぬよう衆知を結集して、文化の違いや歴史的背景を超えたグローバルな発展を追求していく必要がある」と述べた。